



二〇一六年 元旦

クリーンアップ推進員会
会長 斎藤 邦男謹賀新年
クリーンアップ競技

二〇一六年 元旦

事業課 資源振興係 主任 野本 久栄

安心してください！ 分けてますよ！

クリーンアップ推進員のみなさん、あけましておめでとうございます。

戸別回収する町内会が増えて資源庫を管理する手間がなくなった反面、回収業者さんから分別についての、指摘を受けることも多くなったと伺っています。

資源庫回収ではクリーンアップ推進員さんが、しっかり分別方法を指導されていたと思いますが、戸別回収では「ひとりひとり」が気を付けなければならぬ時代になります。

市民の方々ひとりひとりに、分別の方法をお知らせする大切さを感じています。

先日、あるクリーンアップ推進員さんから、分別の七つ道具を教えていただきました。

1. 新聞ストッパー（新聞を入れるビニール袋、そのまま資源回収に出せます）
2. クリーンシティーちとせ（分別のチラシ、これ一枚でいろいろ分かれます）
3. ひも
4. はさみ
5. 磁石（スチール缶をくっつけます。）
6. 水を溜める桶（プラスチック容器をジャジャっとすすぐれに便利）
7. 透明袋（もらったレジ袋を保存して再利用）

回収の方法は変わっても、「安心してください、分けてますよ」と言って下さる、クリーンアップ推進員のみなさんを、とても頼もしく思っています。

これからも、色々教えていただける事を、楽しみにしています。



クリーンアップ推進員会事務局



二〇一六年 元旦

(公財)ちとせ環境と緑の財団
理事長 五島 洋子

二〇一六年、人々にやさしく争いのない、平和な年になることを願って。

推進員の皆様、環境と緑の財団関係者の皆様、新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、公私共に大変お世話になりました事、心より感謝申し上げます。
 ここに昨年一年間を振り返りますと、世界各地でテロ、暴動等殺りく事件が多発、
 ユースなど見ていると、何となく身の回りが窮屈になりつつあるのかなと、感じさせられます。
 年であつたかと思われます。推進員も高齢化が進んでおりました。これから厳寒期に入
 りますので、絶対に無理をせずにサイクルボランティアとして、町内会の資源回収のご指
 導・お手伝いを宜しくお願ひ致します。
 近年では、リサイクルという言葉は、私たち日常生活の中で常識的に広く使われて
 おります。これも微力であります。が永年に亘る、私たちの努力の賜物と自負しても良い
 のではないでしょうか。
 今後も推進員の皆様、財団関係者の皆様のご指導・情報提供等、ご協力をよろしくお
 願い致します。
 今年は「申」年です。赤い猿股・パンツをはいて頑張りますよう。
 推進員、財団関係者の皆様の益々の活躍と健康、そして希望に満ちた幸せな年
 であることを、祈念申し上げます。

ある職場の昇任試験問題で、リサイクル運動の意味を説明せよ・・・サイクリング競技の一つと答えを書かれた時代もありました。
 その一つと答えを書かれた時代もありました。

CLEAN-UP

発行責任者
公益財団法人
ちとせ環境と緑の財団
理事長 五島 洋子
Tel 0123-26-1213

クリーンアップ推進員の皆様、関係機関の皆様、あけましておめでとうございます。

クリーンアップ推進員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年中は、研修会への参加、リサイクルエステイバルへの支援、毎月の再資源化に関する「広報」「助言」等の実践活動に尽力いただき、心から御礼と感謝を申し上げます。

振り返りますと、昭和六十三年に財団（旧公社）と町内会のパイプ役として、五十八名のクリーンアップ推進員が誕生しました。
 あれから二十八年、システムや運用も時代の動向で、大きく変化していますが、市民生活環境の保全や、循環型社会形成を目指す私たちの目的は、益々重要な使命を担つていると自覚しております。

昨今、資源物が減少しております。色々な要素があると考えますが、市民一人一人の意識啓発が重要だと思います。

財団と共に、益々クリーンな千歳の推進役を「ようしく」お願い致します。

ご苦労をおかけしますが、皆様の地域力をご期待申し上げます。
 向寒の折、風をひかれませぬ様、怪我をしない様、ご健康で幸多き年であります様、祈念申し上げ新春のご挨拶とさせていただきます。



二〇一六年 元旦

(公財)ちとせ環境と緑の財団
事業課長 北岡 正則

皆様には、大変お世話になりました。

推進員の皆様、明けましておめでとうございます。晴れやかなお正月をお迎えの事と存じます。

私は、長きに渡り皆様には、ほんとうにお世話になりましたが、この三月で定年退職を迎えることとなりました。

陸上自衛隊退官後は、色々な仕事をしていましたが、平成元年十月一日に、財団の前身であります、千歳市環境保全公社に、職員として採用されました。

そこから、環境センターでの焼却場勤務を経て、資源課回収係では主任を務めてまいりました。平成二十三年に、財団法人千歳市環境保全公社と、財団法人千歳市公園緑化協会が合併し、財団法人ちとせ環境と緑の財団となり、平成二十四年四月一日付で資源振興係に配属となりました。平成二十五年には、公益財団法人となり、前身の環境保全公社から含めて、二十六年もの間お世話になりました。現場の仕事が長かつた事から、事務職に就いてからは様々な苦労をしました。あまり使用したことがないパソコンでの業務、電話対応、書類作りなど悪戦苦闘の毎日でしたが、ご迷惑をおかけしながらも、ここまでやつてくることができたのは、皆様と職員の方々の支えがあったからだと感じています。

研修会やリサイクルエステイバルでは、皆様のご参加ご協力を頂き、心から感謝とお礼を申し上げます。定年後の身の振り方は、まだ決まっておりませんが、何処かで見か

ほんとうにお世話になり、ありがとうございました。
 皆様のご健康と、多幸を心よりお祈りいたします。

あけましておめでとうございます。
 この推進員だよりは、(株)カミノ様のご厚意で印刷されています。

クリーンアップ推進員のみなさま

新年、明けましておめでとうございます。

みなさまには、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
 私が、財団の事業課を担当しまして、はや三年が経とうとしており、この二月をもちまして、退職となります。

この間、クリーンアップ推進員会、役員会、研修会をはじめ、リサイクルエステイバルでは、夏場の暑いさなか、多くの方がボランティアとしてイベントを支えていただき、ほんとうにありがとうございました。

集団資源回収も新システムとなって三年が経過し、順調に推移していることは、推進員の皆様の日々の活動によるものであり、心より感謝申し上げます。

地球温暖化対策も、アメリカや中国がやつと腰を上げたかのような状況であります。が、私たちの子供たちがこの地球で安心して暮らしていくよう、身の回りのことからひどいひとつ環境を守る行動をおこなつていかなければならぬとつくづく考えさせられます。

四月からは、新しい事業課長になると思います。
 私同様、ようしくお願ひいたしますとともに、この一年が、皆様にとって健康で幸せな年でありますことを、祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

皆様には、大変お世話になりました。

四月からは、新しい事業課長になると思います。

私同様、ようしくお願ひいたしますとともに、この一年が、皆様にとって健康で幸せな年でありますことを、祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

平成27年度上半期分の、紙パック奨励金を寄附させていただきました。

平成27年11月25日、千歳社会福祉協議会にて、紙パック分の奨励金寄附に、同意いただいた135団体を代表して、

梅ヶ丘1丁目町内会 会長 中村 勝信 様

幸福町内会 会長 石川 政幸 様

春日町2丁目町内会 副会長 新保 宗里 様

より、千歳市社会福祉協議会 会長 力示 武文 様へ、寄附目録が手渡されました。



平成27年度は、軽くて使いやすい貸し出し用車いす4台の購入費用として活用され車椅子を必要とする、市民の方に貸し出されることになります。

寄附に同意くださった、集団資源回収登録団体の皆様、ありがとうございました。

クリーンアップ推進員だより

私達、新富中町内会は、毎月第一火曜日を回収日と定め、契約している回収業者が回収に来ます。時間等については午前八時半頃と決めています。回収する品目については、古新聞(古紙)、ダンボール、空き缶(混缶)の三種類です。

ペットボトルやトレイ等については、完全に分別して別の指定された日に、出す様にしています。

会員には分別の方法等について何回も指導していますが、いまだに一部の会員については分別に理解がないのか、協力を得られないのが一番の悩みです。ゴミとして出せば只のゴミ、正しく分別をすれば資源として活用される事を、徹底して指導していく気持ちです。

資源回収の収益金や、奨励金については町内会活動の行事の中でも、活用しています。

私が推進員になった理由は、前任の方が病気で退任したので、これから進んで推進員になり、微力ですが活動しています。

財団の実施する研修会等については、毎回参加してゴミの分別、リサイクル等について、自ら理解を深めその内容については、役員会の中できめ細かく報告をしています。

研修する各市町村の施設については、設備の充実や安全と、環境に配慮した設備であり、その度に自ら理解を深め勉強になっています。

各々の施設では、3Rの精神で取り組んでいると思いますし、私も3Rの気持ちを忘れずに、活動していくことを考えています。

私達の町内会は今年八月、市町連の推選を受け、市内三町内会と一緒に優良町内会として、全道町内会活動研究大会に参加して、道町連の表彰を受けました。

この事で、私が町内会長として他の役員の方々や、町内会員の協力を得て、活動してきた事が認められ、会員の方々と共に喜び合えた事が、一番の思い出であります。

財団に対する要望については一町内会として又、私は市町連の理事(安全環境部会副部長)の立場で、引き続き要望を続けていく所存です。

今後も会員の方々と、力を合わせ活動していくまごとに3Rに関するクイズラリーをしました。

会場についてすぐ、目に飛び込んできたのは、ペットボトルを吊るして作成したクリスマスツリーでした。子供たちがラベルを剥がして、絵を描いた色とりどりのペットボトルを2~3本繋げて吊るし、内側でLED電球を光らせ、とても華やかでした。大会イベント開催前に、推進員皆さんと一緒に3Rに関するクイズラリーをしました。

一コマまんがのパネルに答えのヒントが隠れており、3Rの説明のパネルにもよく読めば答えが解るものもあり、皆さんとても優秀で全問正解でした。景品として、繰り返し使用できるカイロか、お菓子袋などの開け口を閉めるクリップの、どちらかを頂いていました。

ワークショップコーナーでは、エコバックやブックカバーの作成体験ができ、ブースにはスタンプ等が用意されていて、皆さん各自のエコバックを作成していました。ぱくりっこコーナーでは、推進員の方が使わなくなった物を持ち込み他の物とぱくりっこして、札幌市からの景品、保温性水筒を頂いていました。大会開催セレモニー後、落語家の林家時蔵氏による、環境を題材にしたオリジナル環境落語と、林家時蔵氏と、札幌市議会議員で落語家の、林家とんでん平氏による環境トークセッションが、行われました。落語では地球温暖化の話から、環境問題、3Rの取り組み方、私達が取り組まなければいけないことなど、分かりやすい内容でした。

平成28年度にも3R推進北海道大会が開催されると思います。

その際には、御案内させていただきますので、是非一緒に参加のほどよろしくお願ひします。

資源ゴミ

ルールを守って出しましょう。

新富中町内会
クリーンアップ推進員

供野 靖史

平成27年度3R推進北海道大会に参加してきました



平成27年12月6日(日)、クリーンアップ推進員5名と財団職員2名で、北海道地方環境事務所が主催する、キャポ大谷地(厚別区)で開催される、3R推進北海道大会に参加しました。

会場についてすぐ、目に飛び込んできたのは、ペットボトルを吊るして作成したクリスマスツリーでした。子供たちがラベルを剥がして、絵を描いた色とりどりのペットボトルを2~3本繋げて吊るし、内側でLED電球を光らせ、とても華やかでした。大会イベント開催前に、推進員皆さんと一緒に3Rに関するクイズラリーをしました。

一コマまんがのパネルに答えのヒントが隠れており、3Rの説明のパネルにもよく読めば答えが解るものもあり、皆さんとても優秀で全問正解でした。景品として、繰り返し使用できるカイロか、お菓子袋などの開け口を閉めるクリップの、どちらかを頂いていました。

ワークショップコーナーでは、エコバックやブックカバーの作成体験ができ、ブースにはスタンプ等が用意されていて、皆さん各自のエコバックを作成していました。ぱくりっこコーナーでは、推進員の方が使わなくなった物を持ち込み他の物とぱくりっこして、札幌市からの景品、保温性水筒を頂いていました。大会開催セレモニー後、落語家の林家時蔵氏による、環境を題材にしたオリジナル環境落語と、林家時蔵氏と、札幌市議会議員で落語家の、林家とんでん平氏による環境トークセッションが、行われました。落語では地球温暖化の話から、環境問題、3Rの取り組み方、私達が取り組まなければいけないことなど、分かりやすい内容でした。

平成28年度にも3R推進北海道大会が開催されると思います。

その際には、御案内させていただきますので、是非一緒に参加のほどよろしくお願ひします。



活動資金が支払われます。クリーンアップ推進員の皆様に、活動資金をお支払いする内容の案内文が、3月初旬に届きます。財団事務所までお越しになりますよう、よろしくお願いします。

担当:クリーンアップ推進員会事務局 富山 郁夫

北斗北町内会
クリーンアップ
推進員
石川 博三

私達、新富中町内会は、毎月第一火曜日を回収日と定め、契約している回収業者が回収に来ます。時間等については午前八時半頃と決めています。回収する品目については、古新聞(古紙)、ダンボール、空き缶(混缶)の三種類です。

ペットボトルやトレイ等については、完全に分別して別の指定された日に、出す様にしています。

会員には分別の方法等について何回も指導していますが、いまだに一部の会員については分別に理解がないのか、協力を得られないのが一番の悩みです。ゴミとして出せば只のゴミ、正しく分別をすれば資源として活用される事を、徹底して指導していく気持ちです。

資源回収の収益金や、奨励金については町内会活動の行事の中で、活用しています。

私が推進員になった理由は、前任の方が病気で退任したので、これから進んで推進員になり、微力ですが活動しています。

財団の実施する研修会等については、毎回参加してゴミの分別、リサイクル等について、自ら理解を深めその内容については、役員会の中できめ細かく報告をしています。

研修する各市町村の施設については、設備の充実や安全と、環境に配慮した設備であり、その度に自ら理解を深め勉強になっています。

各々の施設では、3Rの精神で取り組んでいると思いますし、私も3Rの気持ちを忘れずに、活動していくことを考えていました。

私達の町内会は今年八月、市町連の推選を受け、市内三町内会と一緒に優良町内会として、全道町内会活動研究大会に参加して、道町連の表彰を受けました。

この事で、私が町内会長として他の役員の方々や、町内会員の協力を得て、活動してきた事が認められ、会員の方々と共に喜び合えた事が、一番の思い出であります。

財団に対する要望については一町内会として又、私は市町連の理事(安全環境部会副部長)の立場で、引き続き要望を続けていく所存です。

今後も会員の方々と、力を合わせ活動していくまごとに3Rに関するクイズラリーをします。

平成二十七年度 第二回クリーンアップ推進員研修会実施

今年度の第二回研修会は、九月二十八日(月)に実施されました。

あいにくの雨の中、総勢三十一名で歌志内に向け出発したのですが、雨がどんどんひどくなり、バスの窓からは景色が見えないほどで、滝の中を走っているようでした。ところが一ヵ所目の施設見学をする「北・中空知エネクリーン」に近くにつれ、雨足は弱まり、それほど濡れることがなく施設に入ることができました。まずは、各施設や環境対策について、ビデオによる説明を受けました。エネクリーンは焼却施設を兼ねた発電所であり、歌志内の近郊十四市町から搬入される燃えるゴミを燃やし、ボイラから発生した蒸気を利用して電気を作っています。

電気は施設内で使われ余った電気は、北電に売却して月に八百万円になるそうですが、運転コストも多くかかるということで、それが多いか少ないかは、意見が分かれるところでした。

また、他市と同様、燃やせるゴミに混入していた燃やせないゴミが展示しており、ゴミの分別に関しては、市民のモラルもあるが、まだまだ周知をしていかなくてはならない」と、担当者の方が話をしていました。施設見学後の質疑応答では、千歳市にない発電施設について、皆さん積極的に質問をしていました。お昼は、砂川市パークホテルの二階の部屋で、テーブルを囲み交流を深めながら、昼食会となりました。

午後からは、二方所目の「砂川市クリーンプラザくるくる」へ向きました。ふと思ったのですが、研修会で行く施設の名前は、似たのが多く、もつとインパクトの強い名前をつけないのかなーつて勝手に思っちゃいました。

こちらの「くるくる」では、砂川市近郊三市町から回収した、可燃・不燃・粗大ごみと、資源物の選別を行っていました。



施設見学の様子

reduce
reuse
recycle

平成二十七年十一月十五日(日)資源回収日、あいにくの天気ですが「雨にも負けず、雪にも夏の暑さにも負けぬ」の気持ちで頑張っています。雪天のため、本日の参加者は二十二名ですが、町内会規約で「各班より一名と役員等が協力する」ため、通常では三十名以上の人数で作業しています。資源回収品目は、新聞・雑誌・段ボール・空き缶(アルミ・スチール)・ペットボトル等の五品目と業者契約した資源物です。資源回収終了後、会長及び環境部長から話がありました。九月までの資源回収品目は、スチール缶の分別、資源はゴミステーションではなく、資源回収へ…といった内容です。終了後は参加者・飲み物(缶コーヒー・お茶・ジュース等)を配布して解散となります。それでは、町内会の会報から資源回収に関する記事を紹介いたします。

北斗北町内会の集団資源回収事業

「北斗北町内会の集団資源回収日記」

平成二十七年十一月十五日(日)資源回収日、あいにくの天気ですが「雨にも負けず、雪にも夏の暑さにも負けぬ」の気持ちで頑張っています。雪天のため、本日の参加者は二十二名ですが、町内会規約で「各班より一名と役員等が協力する」ため、通常では三十名以上の人数で作業しています。資源回収品目は、新聞・雑誌・段ボール・空き缶(アルミ・スチール)・ペットボトル等の五品目と業者契約した資源物です。資源回収終了後、会長及び環境部長から話がありました。九月までの資源回収品目は、スチール缶の分別、資源はゴミステーションではなく、資源回収へ…といった内容です。終了後は参加者・飲み物(缶コーヒー・お茶・ジュース等)を配布して解散となります。それでは、町内会の会報から資源回収に関する記事を紹介いたします。

平成二十七年十一月十五日(日)資源回収日、あいにくの天気ですが「雨にも負けず、雪にも夏の暑さにも負けぬ」の気持ちで頑張っています。雪天のため、本日の参加者は二十二名ですが、町内会規約で「各班より一名と役員等が協力する」ため、通常では三十名以上の人数で作業しています。資源回収品目は、新聞・雑誌・段ボール・空き缶(アルミ